

商標

- ・ Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、SQL Serverまたはその他のマイクロソフト製品の名称 および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国 およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ VMware、VMware vSphere、VMware vCenter Server、VMware ESXiはBroadcom Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Veritas、Veritasロゴは、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書の表記について

- ・ Veritas Technologies LLC またはその関連会社を「Veritas社」と記載します。

免責事項

- ・ このドキュメント内容は予告なしに変更される場合があります。また、発行元の許可なく、本書の記載内容を複製、転載することを禁止します。

前版からの更新については、**青字**で記載しています。

Backup Exec 23.xがサポートしている環境について紹介しています。

用語説明

- ・ Backup Execサーバ : Backup Exec Serverをインストールするサーバ
- ・ クライアントサーバ : Backup Exec Agent for Windowsをインストールするリモートバックアップ対象のサーバ

サポート OS

Backup Exec 23.x がサポートしているOS一覧です。

OSにより、一部未サポートとなる機能がありますのでご注意ください。

Veritas社が公開する最新のSoftware Compatibility List (SCL)は以下のサイトからダウンロードしてください。

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/BE_23_SCL

Microsoft® Windows Server® 2016 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	Backup ExecサーバのSDRはサポート 対象外
Microsoft® Windows® Storage Server 2016	
Microsoft® Windows Server® 2019 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2022 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter	
Windows® PC対象およびSP	備考
Windows® 10	クライアントサーバのみ利用可能
Windows® 11	クライアントサーバのみ利用可能

対応仮想環境

Backup Exec 23.x Agent for VMware and Hyper-V が対応している仮想環境の一覧です。

なお、仮想環境はエフサステクノロジーズがサポートする範囲に準拠します。

VMware: <https://ip.fujitsu.com/platform/server/primary/software/vmware/support/>

Hyper-V: <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primary/software/windows/technical/hv/>

VMware vSphere 環境(※)	備考
VMware® ESXi™ 7.0 (Update なし ~ 3)	VMware Virtual SAN 7.0 Update 2 のみ利用可能
VMware® ESXi™ 8.0 (Update なし ~ 3)	VMware Virtual SAN 8.0 (Update なし ~ 3) は利用可能
VMware® vCenter™ Server Appliance 7.0 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server Appliance 8.0 (Update なし ~ 3)	

Microsoft Hyper-V環境	備考
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	
Microsoft® Windows® Storage Server 2016	
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter	

対応アプリケーション

Backup Exec 23.x Agent for Applications and Databases が対応しているアプリケーション一覧です。

Oracle	備考
Oracle 19c	
Oracle 21c	
Microsoft SQL Server	備考
Microsoft® SQL Server™ 2016 (64-bit)	
Microsoft® SQL Server™ 2017 (64-bit)	
Microsoft® SQL Server™ 2019 (64-bit)	
Microsoft® SQL Server™ 2022 (64-bit)	
Microsoft Exchange Server	備考
Microsoft® Exchange Server 2016 (64-bit)	
Microsoft® Exchange Server 2019 (64-bit)	
Microsoft Active Directory	備考
Microsoft® Windows Server® 2016 (64-bit)	Windows 2016以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート
Microsoft® Windows Server® 2019 (64-bit)	Windows 2019以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート
Microsoft® Windows Server® 2022 (64-bit)	Windows 2022以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート

※注意事項

- Microsoft SharePoint 環境は、エフサステクノロジーズではサポート 対象外です。
- Windows Server Failover Clustering (WSFC) 環境のアプリケーションについてサービス稼働時のバックアップをサポートしておりません。詳細については別紙「Backup Exec 23 留意・制限事項」、「エフサステクノロジーズ未提供機能/制限事項のサマリ」をご確認ください。
- SQL Server AlwaysON環境はサポート 対象外です。
- Exchange DAG (Database Availability Group) 環境はサポート 対象外です。
- エフサステクノロジーズでのサポート 範囲の詳細については、Backup Exec 商談窓口にお問い合わせください。

Deduplication Optionについて

- 重複排除用ディスクストレージを保存するための場所として、専用のボリュームを用意することを推奨します。
- 重複排除用ディスクストレージの容量が4TB以下の場合、最低8GBのメモリが必要です。
重複排除用ディスクストレージの容量が4TB以上ある場合は8GBに加えて容量1TBごとに1GBのメモリが必要です。
- 32bit OS の場合でも、バックアップ対象側で重複排除が可能です。

製品要件

メモリ

下記数値を目安に、使用する製品が必要とするメモリを加算してください。

使用する製品	対象サーバ	必要メモリ	備考
Veritas Backup Exec 23.x	Backup Execサーバ	8GB以上	推奨: 16GB以上
Veritas Backup Exec 23.x Deduplication Option	Backup Execサーバ	8GB以上	CPU: 8コア以上(推奨: 16コア以上)
	クライアントサーバ	1.5GB以上	クライアント 重複排除をする場合
各エージェント 製品	Backup Execサーバ	256MB	各エージェント 製品あたりの必要量

必須ソフトウェア

必須となる製品	備考
Microsoft® .NET Framework 4.8	Backup Exec サーバに必須 注意: Windows の一部のバージョンでは .NET Framework 4.8 をサポートしません。異なるバージョンの .NET Framework を使う必要があるオペレーティングシステムで Backup Exec インストールプログラムを実行すると、Backup Exec はインストールを遮断し、必要なバージョンの .NET Framework をインストールするように指示するエラーメッセージが表示されます。

ハードディスク容量

使用する製品	必要となる容量	備考
Veritas Backup Exec 23.x	3GB	インストールに必要な容量
Backup Exec データベースおよびカタログ格納先	バックアップ頻度に応じた容量	
Veritas Backup Exec 23.x Deduplication Option	重複排除用ディスクストレージは専用のボリュームに最低20%(5GB以上)の空き容量が必要	

インスタントリカバリ機能

インスタントリカバリ機能を利用する場合、以下の要件を満たしてください。

インスタントリカバリ先	要件
Microsoft Hyper-V 環境	Backup ExecサーバでSMB共有ができること
VMware vSphere 環境	Backup ExecサーバにNFSの役割がインストールされていること

サポートクラウド環境

Backup Exec 23.x がサポートしているクラウド環境一覧です。

クラウド環境

FUJITSU Hybrid IT Service FCloud-OIaaS

※注意事項

利用する際は以下の条件があります。

- 1) サポートしている製品は以下です。
 - Veritas Backup Exec Server
 - Veritas Backup Exec Agent for Windows
 - Veritas Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V
 - Veritas Backup Exec Agent for Applications and Databases
 - Veritas Backup Exec Deduplication Option
- 2) FUJITSU Hybrid IT Service FCloud-OIaaS 上および、Veritas Backup Exec 23.x がサポートしているOSのみ利用可能です。
- 3) FUJITSU Hybrid IT Service FCloud-OIaaS 環境の仮想マシンをBackup Execサーバとする場合のバックアップ対象は、FUJITSU Hybrid IT Service FCloud-OIaaS 環境の仮想マシンのみです。
- 4) バックアップデータ格納先は、仮想マシンに接続しているローカルディスク（ディスクストレージまたは、重複排除用ディスクストレージとして使用）のみです。
- 5) 本環境で使用するにあたり、別紙「Backup Exec 23 留意・制限事項」、「エフサステクノロジーズ未提供機能/制限事項のサマリ」も参照してください。

サポート バックアップ装置

Backup Exec 23.x が、サポートしているバックアップ装置一覧です。

分類	バックアップ装置 (※)	規格	I/F	備考		
内蔵	単体テープ装置	PY-LT411	LTO4ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 ・ Windows Server 2016 Standard	
		PY-LT511	LTO5ユニット	SAS		
		PY-LT611 PY-LT611A	LTO6ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2019 Standard/Datacenter	
		PY-LT711	LTO7ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2019 Standard/Datacenter ・ Windows Server 2022 Standard/Datacenter	
		PY-LT811	LTO8ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2019 Standard/Datacenter ・ Windows Server 2022 Standard/Datacenter	
		PY-LT911	LTO9ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2019 Standard/Datacenter ・ Windows Server 2022 Standard/Datacenter	
		データカートリッジ ドライブ	PY-RD111 PY-RD112 PY-RD113	-	USB2.0 USB3.0	1) Veritas社からドライバは提供されていないため、OS標準のドライバを利用 2) 複数のデータカートリッジにまたがるバックアップデータでのSimplified Disaster Recoveryはサポート対象外 3) カートリッジを抜いてOS再起動を行う運用の場合、「MBRパーティション」のカートリッジを利用してください。
	外付け テープライブラリ装置		ETERNUS LT20_S2	LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS	LTO7/LTO8のメディアをサポート ただし、LTO7 Type M ⁴ ディアはサポート対象外 LTO8/LTO9のメディアをサポート
				LTO Ultrium4 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	
		LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ				
LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ						
LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ						
LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ						
LTO Ultrium9 ハーフハイト テープドライブ						
ETERNUS LT40_S2	LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS	LTO7/LTO8のメディアをサポート ただし、LTO7 Type M ⁴ ディアはサポート対象外			
	LTO Ultrium4 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC				
	LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ					
ETERNUS LT60_S2	LTO Ultrium4 フルハイト テープドライブ	SAS FC	LTO7/LTO8のメディアをサポート ただし、LTO7 Type M ⁴ ディアはサポート対象外			
	LTO Ultrium6 フルハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ					
ETERNUS LT140	LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO7/LTO8のメディアをサポート ただし、LTO7 Type M ⁴ ディアはサポート対象外 LTO8/LTO9のメディアをサポート			
	LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ					
	LTO Ultrium9 ハーフハイト テープドライブ					

-以上-

【更新履歴】

版数	更新日	更新内容
初版	2024/09/02	新規作成
第2版	2024/09/13	「対応仮想環境」を更新しました。